

緊急申し入れの骨子

- 家具転倒防止器具の設置助成の拡充をはかること。
- 防災無線の設置箇所を増設するなど、区民や在勤者に情報が正確に伝わるように改善をはかること。
- 窓ガラス等の落下防止のために、落下の危険性に関する実態調査をおこなうこと。
- マンション等と木造住宅の耐震診断・耐震改修への助成を拡充すること。



党区議団は4月6日、区に対し、災害予防のための緊急申し入れを行いました。震災に対して効果が高く、すぐに実行できるものを4項目にまとめたものです。大山恭司副区長は、「検討し、可能なものは具体化したい」と答えました。

2011年度予算について

第一回定例区議会は3月8日、2011年度予算を賛成多数で可決しました。反対は日本共産党など7名。区民にとってどのような予算なのでしょう。

一般会計で約489億円、国保会計が約49億円です。この予算案には大きな二つの側面があります。ひとつは区民の声で区政を動かした側面です。もうひとつが行政ほんらいの仕事に民間に投げ出したり、区民に負担増を求める流れです。この二つの側面を詳しくみてみましょう。

子ども医療費やマンション助成などで前進

予算案には、区民の声にこたえる注目すべき施策の前進がありました。たとえば、子ども医療費無料化の拡充です。4月から18歳まで無料になりました。約900名が対象です。子どもの予防接種も、インフルエンザワクチンなどの助成の枠が広がりました。

マンション施策の前進もあります。たとえばマンションの安全・安心居住助成です。これは災害のときに「高齢者等の移動手段の安全性の確保」を目的とした制度です。

2011年度からは、避難経路上の「段差解消」工事やエレベーターに「戸開走行保護装置」を設置するときに助成対象になりました。

国保料 低所得世帯の負担増に

一方で、予算には無視できない大問題があります。そのひとつが国保料の計算方式が変わることです。家族の多い世帯や低所得世帯に負担増がもたらされることです。これまでは住民税にもとづいて国保料を計算してきました。こんどは所

得にもとづいて計算することになります。その結果、扶養控除や障害者控除、社会保険料控除、ローン控除などがなくなります。

家族の多い世帯、障害者世帯、所得の低い世帯ほど負担がふえます。たとえば、4人家族のモデル世帯（夫だけの収入、妻と子2人）では年収400万円で国保料が約35万円です。夫婦とも40歳以上ですと介護分も加わり約40万円に。1か月の給料が国保料で消えることになります。

千代田区では現在でも国保加入世帯の3割近くが滞納世帯です。国保料が高すぎて納めることができないのです。国保料の負担増は滞納世帯をさらに増やし、国保制度そのものを崩しかねません。

問題だらけの「官から民へ」

予算案のもうひとつの問題点は、本来、区がやるべき仕事を民間にまかせてしまうことです。

予算委員会では総合窓口の業務委託に意見が統

住みつづけられる千代田を 日本共産党千代田区議団だより

2011年4月号

発行／日本共産党千代田区議団

九段南1-2-1 (5211) 4324

jcp-chiyoda@kamogawa.seikyoku.ne.jp

出しました。軽視できないのは、その背景に「まらず人件費削減ありき」があることです。区は「委託化による人件費の削減にも積極的に取り組んでおり」と述べています。石川区政の10年間で、総勢301人も職員数が減っています。

住民本位の行政を効率的な機構ですすめることは大原則です。しかし、東日本大震災は、災害時の職員が果たす大切な役割をあらためて示しました。「人件費削減ありき」の委託化は改めるときではないでしょうか。

百条委員会 が中間報告

現職区議による入札への介入疑惑を調査していた特別委員会（100条委員会）は3月31日、臨時区議会に「中間報告」（以下、「報告」）をおこないました。それを受け、党区議団で座談会を行いました。

“何者かによる圧力” 再発防止策は急務 談合の疑い

判断できませんでした。

その理由は、ひとつには、中村議員が働きかけを否定したこと。いまひとつは、川崎証言を裏付ける他の証拠が見当たらなかったことです。

証拠という点では、当時のことを良く知る元係長の証言が得られれば、より真相に接近できたことは間違いないでしょう。

飯島区議 「報告」は、中村議員に「好ましくない行動」があったと述べています。

福山区議 その「何者か」が、大きな問題ですね。

木村区議 そうですね。

川崎元経理課長は「中村議員の圧力が苦痛だった」と述べ、中村議員からどのような働きかけを受けたかを詳しく証言しました。その証言について「報告」は、指名業者名などを見ると「川崎元経理課長の証言に沿う事象が生じている」、「その内容自体は不合理とは言えない」とのべています。しかし、中村議員とは



小学校の統廃合反対運動を報じる新聞

パレスホテルで川崎元経理課長と「2、3回会った」ことです。パレスホテルは、川崎元経理課長の証言によると「解体業者名が記載された『業者リスト』を渡され：た」場所です。

「報告」は、「企画総務建設委員長職にあり、契約事務を所管する課長と複数回にわたり勤務時間外に区役所から相当程度離れたパレスホテルで会うことは、好ましいことではない。

そのような行動は、第三者から誤解を受ける可能性の高いものである中で、厳に慎むべきであった」と述べています。

牛尾事務局長 区民から「おかしい」という声があるのも当然ですね。

木村区議 もうひとつは、西神田小学校の解体工事を落札した関口興業と会っていたことです。これについても「報告」は、「当時は区立小学校校舎解体工事

事が順次行われている最中であつた。このような状況の中で、企画総務建設委員長職にある議員が入札に指名される可能性のある解体業者と会うことについては、厳に慎むべきであつた」と述べています。

工事契約は適正に締結されたか

福山区議 小学校校舎解体工事の入札は適正に行われたとはいえません。「報告」は談合の疑いは否定できないと述べています。

木村区議 ええ、「調査の中で明らかにした、①同じ事業者が複数回、入札事業者として指名されていたこと、②現場説明に指名業者が一堂に会していたこと、③などの事情に川崎元経理課長の証言を合わせる

と、小学校校舎解体工事全体について談合が行われていた疑いがあることを否定できない」と「報告」はのべています。

公正で透明な区政運営をめざして

飯島区議 「何者かによる圧力」「談合が行われた疑い」となると、今後の再発防止策がいつそう重要になります。

木村区議 そこで「報告は」、契約制度のさらなる改善、公益通報制度の通報者保護の徹底、区民や政治家などからの要求の記録化

制度の改善などを提案しました。

区民に信頼される議会をめざして

福山区議 事務執行の改善提案とともに、議長に対して「政治倫理に関する条例」の検討なども提案されました。

100条委員会の調査は4カ月間という短期間でしたが、「報告」は、議会や議員のあり方についても重要な指摘をしています。

木村区議 今回の「報告」

は、弁護士らの助言をうけつつ、12名の委員全員で確認しながらまとめたものです。それだけに「報告」の提起した内容は大変重いものだと思います。今後、私たちも他会派のみなさんと力をあわせ、提案の具体化をはかるまで責任をもって取り組んでいく必要があります。

入札結果									
名称	旧西神田小学校校舎解体工事	工事	入札	開札日	平成27年3月27日	開札時間	午前10時30分	開札場所	区役所3階3号会議室
施行場所	千代田区西神田2-6-18	工期	約100日	開札日	平成27年3月27日	開札時間	午前10時30分	開札場所	区役所3階3号会議室
現場説明日時	平成27年3月18日	開札日	平成27年3月27日	開札時間	午前10時30分	開札場所	区役所3階3号会議室	開札結果	落札
入札者名	青木工務店	代表者名	青木 次	代表者印	青木 次	代表者印	青木 次	代表者印	青木 次
入札金額	3,827,000円	入札金額	3,827,000円	入札金額	3,827,000円	入札金額	3,827,000円	入札金額	3,827,000円
入札者名	青木工務店	代表者名	青木 次	代表者印	青木 次	代表者印	青木 次	代表者印	青木 次
入札金額	3,827,000円	入札金額	3,827,000円	入札金額	3,827,000円	入札金額	3,827,000円	入札金額	3,827,000円
入札者名	青木工務店	代表者名	青木 次	代表者印	青木 次	代表者印	青木 次	代表者印	青木 次
入札金額	3,827,000円	入札金額	3,827,000円	入札金額	3,827,000円	入札金額	3,827,000円	入札金額	3,827,000円
入札者名	青木工務店	代表者名	青木 次	代表者印	青木 次	代表者印	青木 次	代表者印	青木 次
入札金額	3,827,000円	入札金額	3,827,000円	入札金額	3,827,000円	入札金額	3,827,000円	入札金額	3,827,000円

問題となった校舎解体工事の入札結果票